

本日は「法名」について、お話をさせていただきます。

ご先祖さまの法名を集めるのは、父方母方、夫方妻方、この両家のご先祖さまを集めることが基本です。両親が離婚していても、その両親のご法名を集めることが、妙智會のルールです。基本は平等に、均等に集めるということが大切です。

自分を含めて3代、4代前のご先祖さまは過去帳に、それ以前の古いご先祖は、総戒名が預かります。総戒名と過去帳とは一つになっていますので、総戒名だけでは意味がありません。

妙智會では「六親眷属」と言っていますが、妙智會の先祖集めは、下から上に繋がって、横に広がっていかなければなりません。これが妙智會の、先祖集めのイメージです。

今のネット社会で例えると、先祖集めとは「データ集め」です。「データを集める」ことをしておけば、何か困ったときに、そのデータから明確な解決方法を見つけることができます。

しかし、我々は困ったときにだけご先祖さまを集めていくので時間がかかり、結果も効果も効能も薄いという状況になってしまいます。まずは「ご先祖さまを集める」ことです。その行いをすることによって、懺悔と感謝の心ができ、その結果、根性が変わるのです。

お導きをしようとしても、ご先祖さまを集めなければ、お導きも因縁解決もできません。ご先祖さまを集めるからこそ、因縁解決ができるのです。

ご先祖さまを集めるということは、自分のデータを集めるということで、自分たちの因縁も集めることになります。そうすること

で、皆さんのお経はたくさんのご先祖さまに届いていき、因縁解決も早くなり、素晴らしい結果につながるのです。

そして、妙智會では病気や諸々にも法名をつけますが、法名はたくさんつけばいいというものではありません。先祖を集めていなければ、法名の効果も力も半減してしまいます。

妙智會の法名は、自分と少数の同じ因縁のご先祖さまだけにつけても、結果は薄いのです。ですから会主さまが「法名を集めなければ駄目なのだ」と明確におっしゃったのです。

最後に、たくさんのご先祖さまを集め、自分自身が神佛へかけた「願ほどき」をすると同時に、集めた分のご先祖さまの願ほどきも、してあげることができます。これは大きな功德です。

また、法名をつける、ということは「願かけ」です。会主さま大導師さまが、そして今は私が、12月31日に1年間の願ほどきをしています。諸々の願ほどきとともに、法名に対しての願ほどきもしています。支部長、役員、法名入神者の修行をしている方たちは、12月31日に1年間の願ほどきをしてください。

区切りもせずに、また2年目にその法名を置いておくということは、体に来てしまいます。頂いた法名を、2年も3年も読み上げていても、意味がありません。

皆さんの身体の法名は、ご先祖の身体にも届いています。会主さまがおっしゃった通り、自分と先祖とは「合わせ鏡」です。たくさんのご先祖さまを集めていれば、たくさんの喜びを頂けるので、結果が全然違います。ぜひ、それを体験して頂ければと思います。